

<b>1. 件名（情報）・題名</b> 「八千代市公共施設等個別施設計画」策定に向けての取り組み
<b>2. 内容（目的・日時・場所・特徴など）</b> 八千代市公共施設等総合管理計画に基づき、施設ごとの具体的な対応方針を定める「八千代市公共施設等個別施設計画」を策定するにあたり、以下の取り組みを行いました。  (1) 庁内説明会 ・日時 令和2年6月4日 午後1時30分～午後2時30分 ・場所 八千代市市民会館 小ホール ・参加者 市職員（施設管理者等）58人 ・内容 個別施設計画策定に向けて、庁内一丸となって取り組むため、副市長による講話や公共施設の現状や課題等について説明を行いました。  (2) 公共施設に関する市民アンケート ・期間 令和2年6月29日～令和2年7月15日 ・内容 広く市民に、公共施設の利用状況や今後の公共施設のあり方についての考えを伺うため、アンケートを行いました。 今後、アンケート結果は、市ホームページなどで公表します。
<b>3. 過去・現在及び今後の展開</b> 令和2年度中に「八千代市公共施設等個別施設計画」を策定
<b>4. 添付資料（要綱・名簿・写真等）</b> ・庁内説明会資料（公共施設等個別施設計画について） ・八千代市公共施設に関する市民アンケート
<b>5. 主催・共催者名</b> 八千代市
<b>6. 問い合わせ先（住所・電話・担当課等）</b> 八千代市 財務部 資産管理課 047-483-1151（内線3311）

# 公共施設等個別施設計画について

～ これからの公共施設のあり方をオール八千代で考える ～

庁内説明会（第1回）

R2.6.4 資産管理課



# 本日のポイント

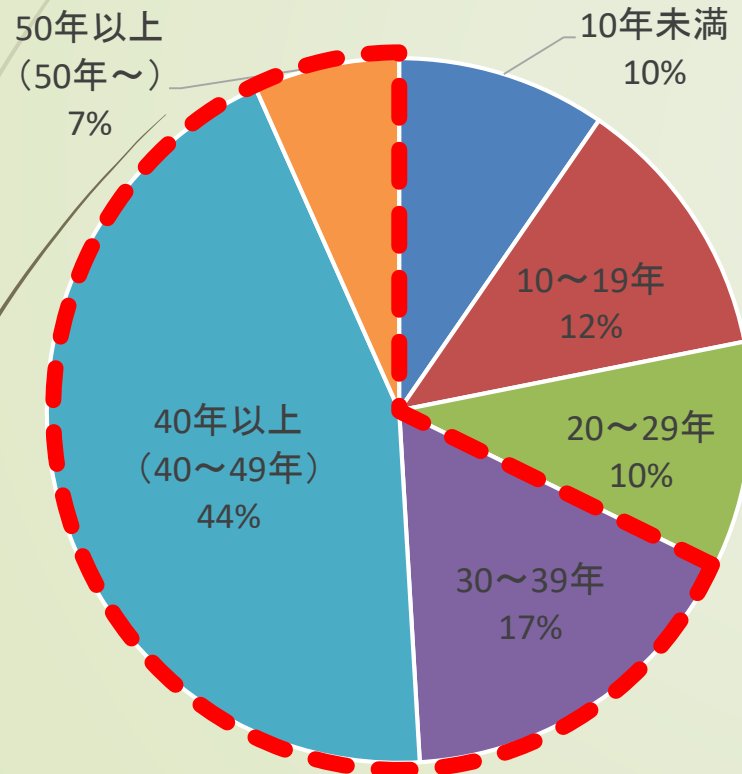
1. 本市の公共施設の現状等 **(情報共有)**
2. 今後の公共施設を取り巻く課題 **(共通認識)**
3. 一緒に考えていく **(課題解決)**

# 1. 本市の公共施設の現状等

※公共施設＝ハコモノ

## (1) 保有状況等

### ① 経過年数別保有状況



30年以上経過している施設が6割以上  
⇒老朽化した施設が多い

経過年数	延べ面積(万㎡)	割合 (%)
10年未満	3.6	10
10～19年	4.6	12
20～29年	3.9	10
30～39年	6.3	17
40年以上 (40～49年)	16.6	44
50年以上 (50年～)	2.5	7
総計	37.5	100

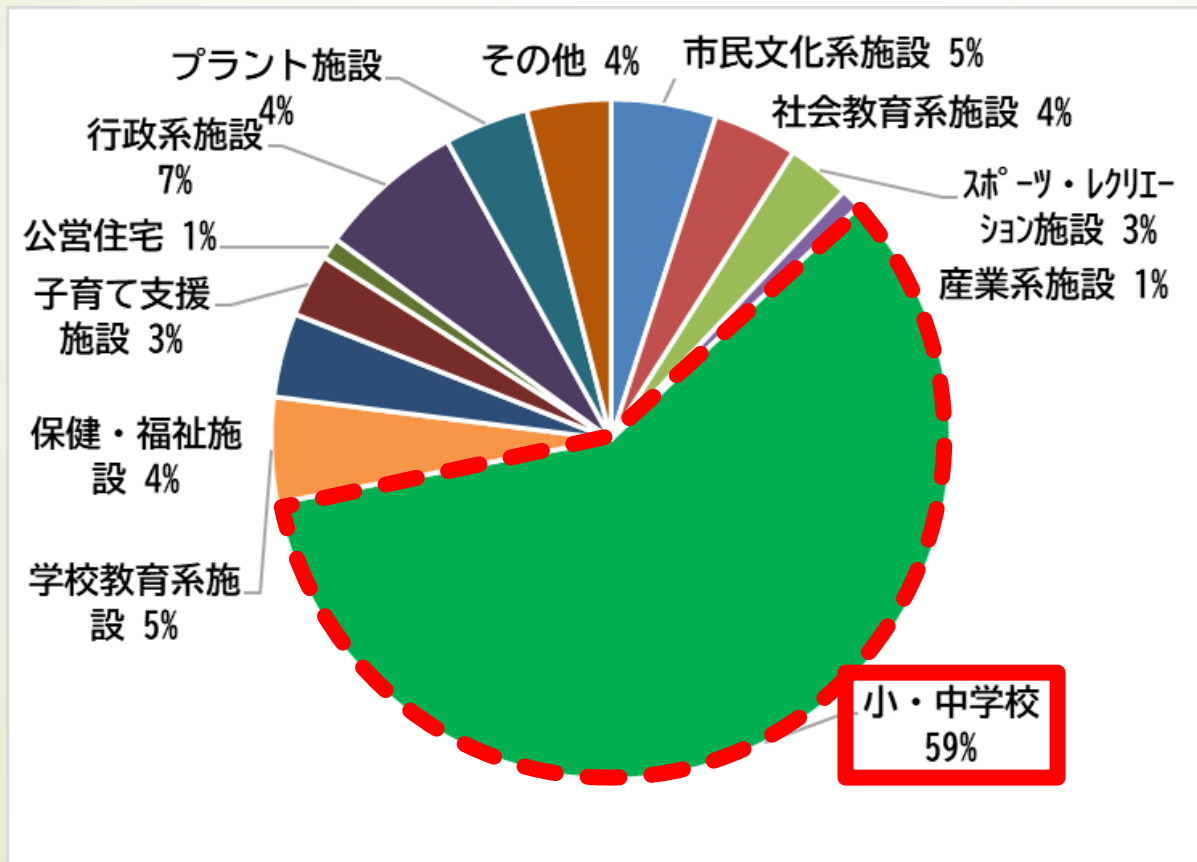
※施設数及び延べ面積は、公園等施設・プラント施設・上下水道局庁舎を含めた数値となっています。

# 1. 本市の公共施設の現状等

## (1) 保有状況等

### ② 施設分類別保有状況

小・中学校が約6割



# 1. 本市の公共施設の現状等

## (1) 保有状況等

### ③ 近隣市等保有状況

近隣市や財政等の類似団体の中では  
少ない保有状況

※「平成29年度公共施設状況カード」より集計

市町村名	面積 (km <sup>2</sup> )	人口 (人)	公共施設 (行政財産) 総延面積 (m <sup>2</sup> )	一人当たり 保有面積 (m <sup>2</sup> /人)
流山市	35.32	185,460	319,532	1.72
<b>八千代市</b>	<b>51.39</b>	<b>197,672</b>	<b>371,742</b>	<b>1.88</b>
船橋市	85.62	635,517	1,225,449	1.93
佐倉市	103.69	176,291	348,709	1.98
浦安市	17.30	167,938	389,011	2.32
習志野市	20.97	172,632	407,730	2.36
野田市	103.55	154,784	382,571	2.47
千葉市	271.77	967,832	2,549,843	2.63
印西市	123.79	99,286	312,190	3.14

## 2. 今後の公共施設を取り巻く課題

### (1) 老朽化の進行

#### ① 個別施設計画での調査結果



外壁：塗装の剥がれや爆裂



天井：雨漏りや設備からの漏水痕



内壁：雨漏りの浸水による塗装劣化



受水槽：錆によるパネルの劣化

## 2. 今後の公共施設を取り巻く課題

### (1) 老朽化の進行

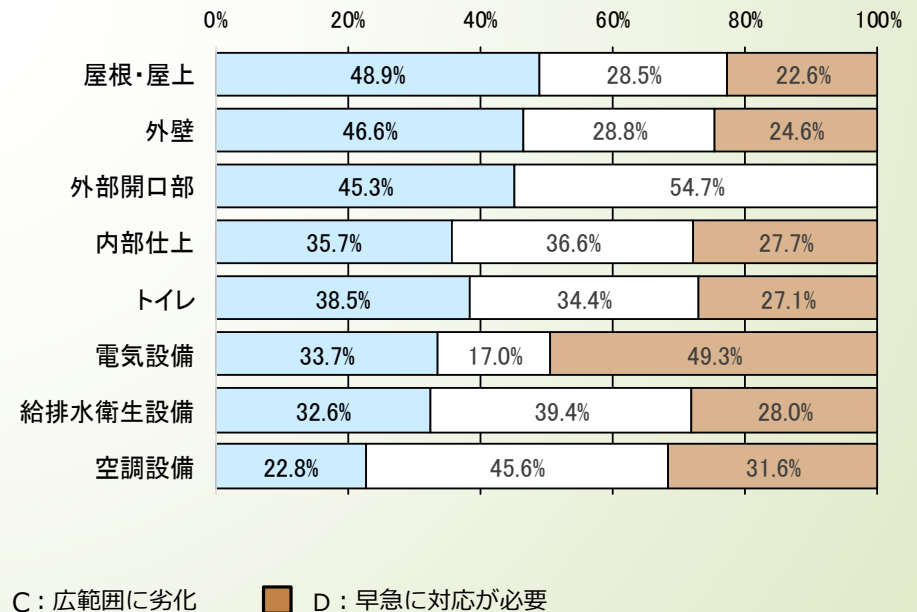
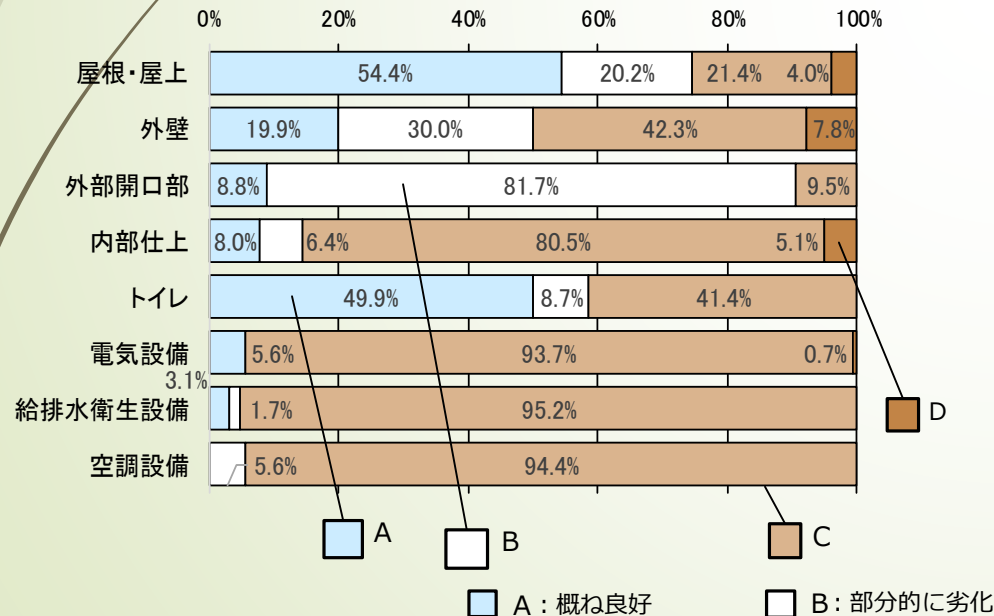
#### ① 個別施設計画での調査結果

学校施設 部位ごとの劣化状況（面積比）

※棟数，面積については暫定値

旧耐震基準の棟（87棟 137,198㎡）  
（昭和56年度以前に建設した施設）

新耐震基準の棟（49棟 80,984㎡）  
（昭和57年度以降に建設した施設）



延床面積の割合（学校施設）  
旧耐震基準が63%  
新耐震基準が37%



## 2. 今後の公共施設を取り巻く課題

### (1) 老朽化の進行

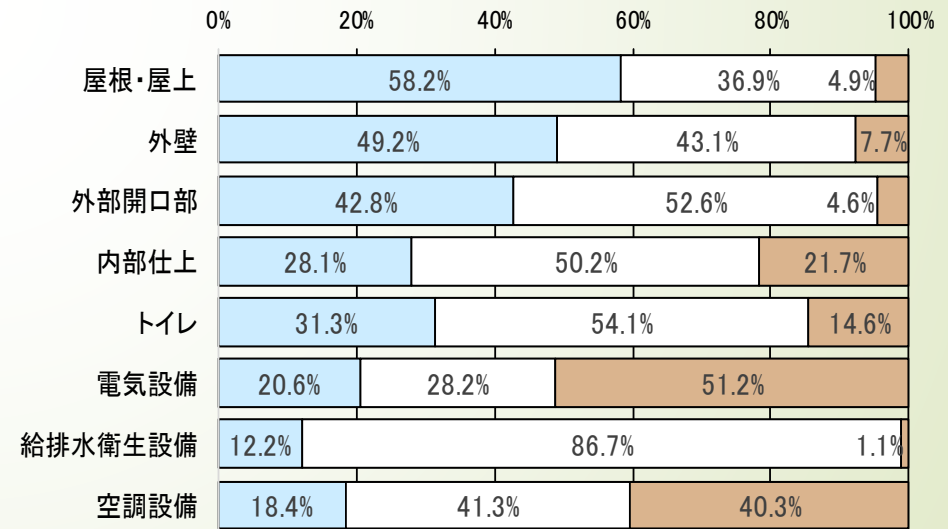
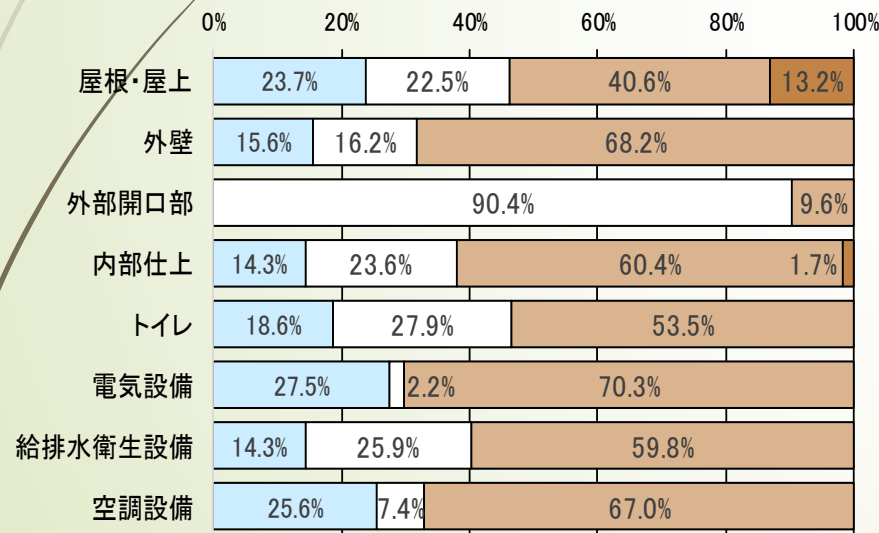
#### ① 個別施設計画での調査結果

公共施設 部位ごとの劣化状況（面積比）

※棟数, 面積については暫定値

旧耐震基準の棟（36棟 46,886㎡）

新耐震基準の棟（92棟 84,380㎡）



■ A: 概ね良好   
 ■ B: 部分的に劣化   
 ■ C: 広範囲に劣化   
 ■ D: 早急に対応が必要

延床面積の割合（公共施設）  
 旧耐震基準が36%  
 新耐震基準が64%

## 2. 今後の公共施設を取り巻く課題

### (1) 老朽化の進行

#### ② 現在の施設管理手法

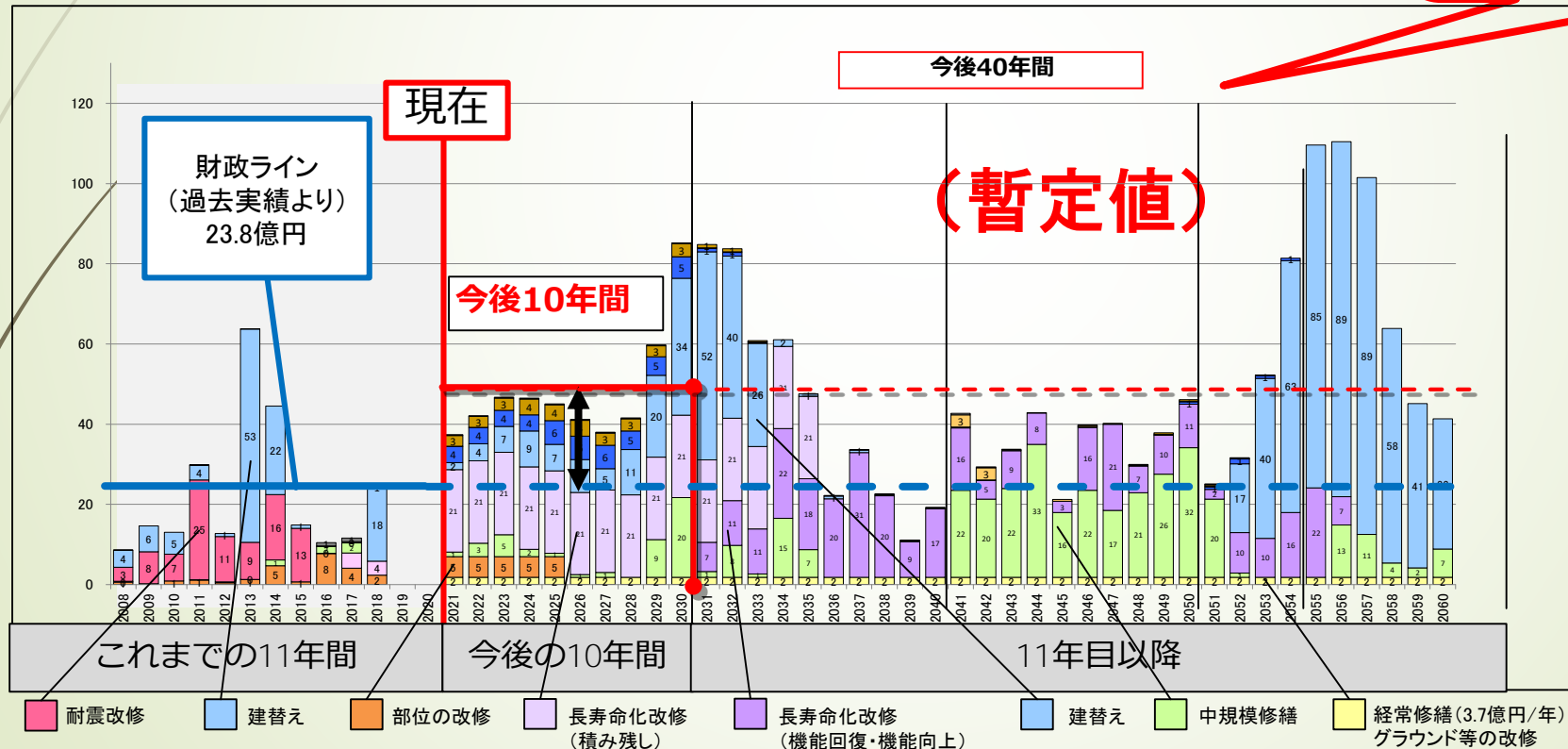
- A) 1 2 条点検（特定建築物定期点検）
- B) 「建築技師」及び「施設管理者」による点検
- C) 包括施設管理

## 2. 今後の公共施設を取り巻く課題

### (2) 将来コスト予測と今後の財源等

#### ① 将来コスト予測と今後の財源

現有施設をそのまま保有した場合、改修や建替え等の費用が圧倒的に不足する見込み



【留意事項】  
財政ラインや将来コストは現在、算出・精査中のため暫定値となります。

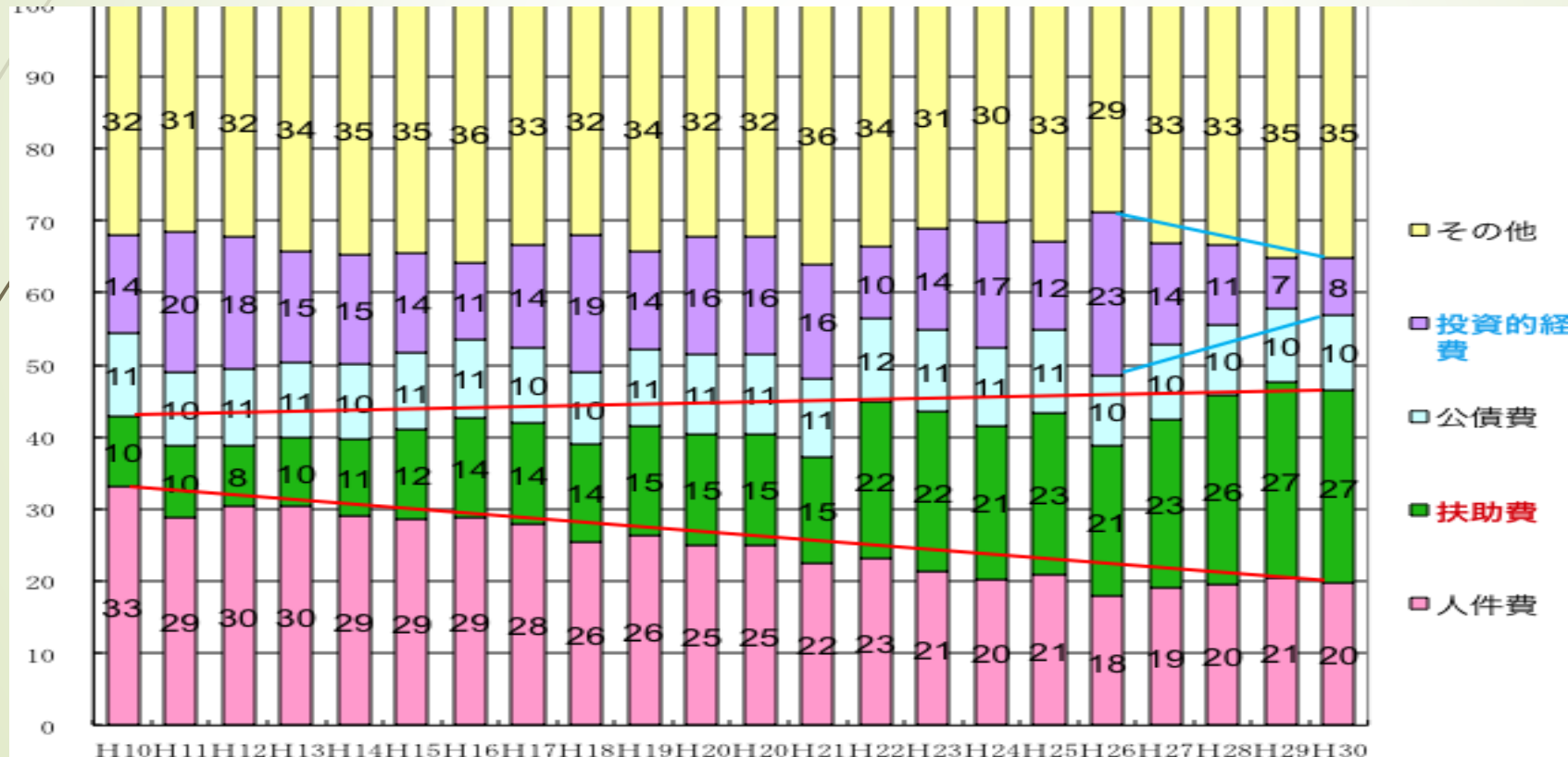
数値確定次第、ご案内します。

## 2. 今後の公共施設を取り巻く課題

### (2) 将来コスト予測と今後の財源等

#### ② 性質別決算の推移

扶助費は増加  
投資的経費は減少



## 2. 今後の公共施設を取り巻く課題

### (2) 将来コスト予測と今後の財源等

赤字の見通し

#### ③ 中長期財政収支見通し

※平成27年度は参考掲載 (百万円)

	平成27年度 当初予算額(※)	平成28年度 当初予算額	平成29年度 当初予算額	平成30年度 当初予算額	平成31年度 当初予算額	令和2年度 当初予算額	令和3年度 当初予算見込額	令和4年度 当初予算見込額	令和5年度 当初予算見込額	令和6年度 当初予算見込額	令和7年度 当初予算見込額
<b>歳入</b>											
市税	26,935	27,511	28,236	28,668	29,417	29,370	29,682	30,118	30,542	30,692	31,030
譲与税・交付金	3,897	4,322	4,279	4,531	4,839	5,502	5,575	5,588	5,596	5,609	5,617
地方交付税	1,416	1,702	1,566	1,293	1,066	1,152	1,029	937	866	860	814
国・県支出金	11,885	12,361	12,204	12,606	13,281	14,790	14,635	15,101	14,951	15,193	15,589
繰入金・繰越金	1,968	1,738	64	1,068	1,706	1,232	676	671	571	571	571
市債	5,953	4,628	2,729	3,443	2,558	2,184	2,894	4,207	2,565	2,178	2,272
その他(注1)	4,017	3,819	3,802	3,929	3,983	4,020	4,779	3,964	3,965	3,966	3,941
<b>歳入計</b>	<b>56,071</b>	<b>56,081</b>	<b>52,880</b>	<b>55,538</b>	<b>56,850</b>	<b>58,250</b>	<b>59,270</b>	<b>60,586</b>	<b>59,056</b>	<b>59,069</b>	<b>59,834</b>
うち臨時	13,204	11,190	6,829	8,375	8,060	7,357	7,959	8,745	6,619	6,216	6,442
うち経常	42,867	44,891	46,051	47,163	48,790	50,893	51,312	51,841	52,436	52,853	53,391
<b>歳出</b>											
人件費	11,077	11,063	11,116	11,129	10,641	11,490	11,460	11,502	11,643	11,682	11,714
扶助費	12,786	14,203	14,376	15,042	15,933	17,067	17,318	17,547	17,863	18,172	18,537
公債費	5,514	5,410	5,492	5,697	5,794	5,747	5,748	5,852	5,470	5,203	5,106
物件費	10,350	11,276	10,431	10,648	11,570	11,806	11,257	11,290	11,568	11,606	11,687
補助費等	2,776	2,570	2,444	2,840	3,072	2,892	2,673	2,733	2,590	2,598	2,713
繰出金	4,598	4,710	4,812	4,926	5,018	5,225	5,384	5,579	5,757	5,921	6,057
投資的経費	7,709	5,481	3,508	4,538	4,071	3,230	5,154	5,826	3,436	2,925	3,323
その他(注2)	1,261	1,368	701	718	743	793	1,282	1,287	888	894	895
<b>歳出計</b>	<b>56,071</b>	<b>56,081</b>	<b>52,880</b>	<b>55,538</b>	<b>56,850</b>	<b>58,250</b>	<b>60,276</b>	<b>61,616</b>	<b>59,215</b>	<b>59,001</b>	<b>60,032</b>
うち臨時	10,895	9,478	5,076	6,178	5,993	5,479	7,089	7,798	4,797	4,288	4,842
うち経常	45,176	46,603	47,804	49,360	50,857	52,771	53,187	53,819	54,417	54,713	55,190
<b>収支</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>△1,006</b>	<b>△1,030</b>	<b>△159</b>	<b>68</b>	<b>△198</b>
うち臨時	2,309	1,712	1,753	2,197	2,067	1,878	870	947	1,822	1,928	1,600
うち経常	△2,309	△1,712	△1,753	△2,197	△2,067	△1,878	△1,875	△1,978	△1,981	△1,860	△1,798
臨時財政対策債	1,895	1,600	1,594	1,387	829	1,103	1,094	1,043	1,013	1,004	1,002

(注1) 「その他」は、分担金及び負担金、使用料及び手数料、財産収入、寄附金、諸収入。

(注2) 「その他」は、維持補修費、積立金、投資・出資・貸付金、予備費。

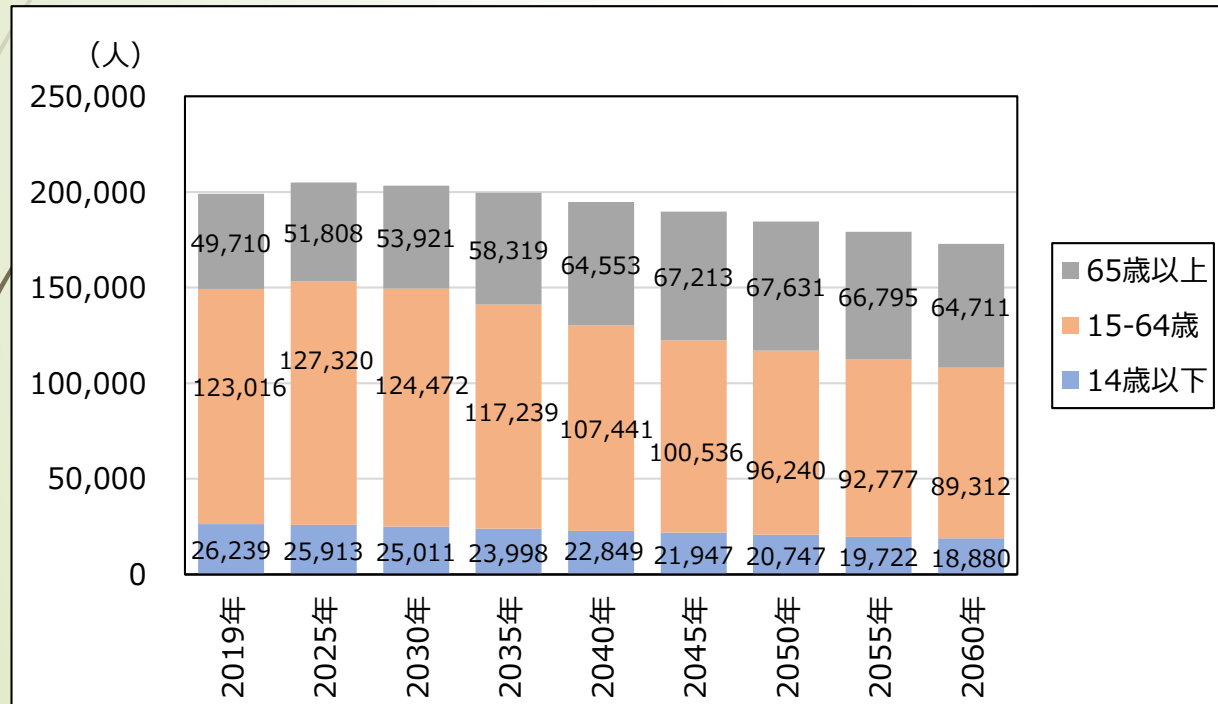
※「中長期財政収支見通し ローリング(第9回目)」より

## 2. 今後の公共施設を取り巻く課題

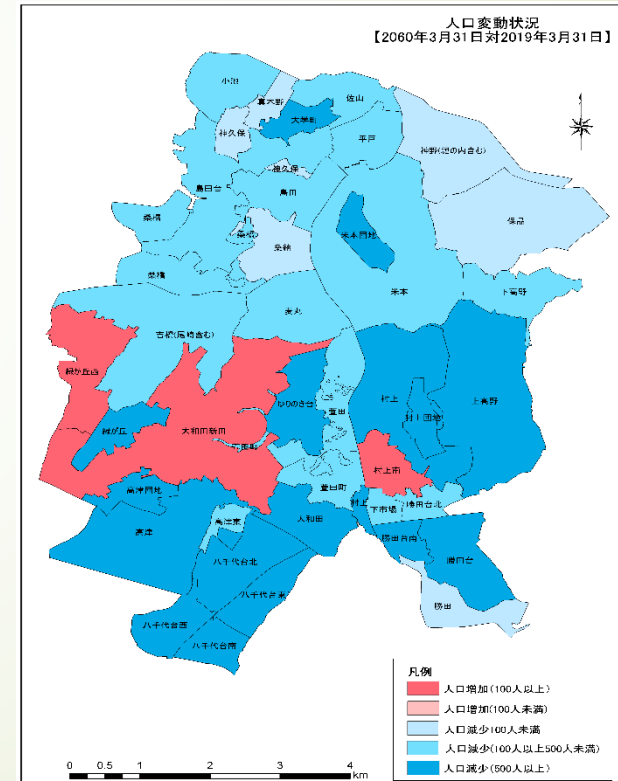
### (2) 将来コスト予測と今後の財源等

#### ④ 人口推計予測

年齢3区分別人口の推計値



人口が減少  
生産年齢人口の割合減少  
老年人口の割合増加



※「八千代市人口ビジョン（令和2年改訂版）」より

## 2. 今後の公共施設を取り巻く課題

### (3) 課題整理

- ① 老朽化が顕著（施設管理上のリスクが高まる）

老朽化は日々進行 =  時限爆弾  と同じ



**利用者の安全・安心は絶対条件 / 職員を刑事犯罪人にしない**

※施設管理上の業務上過失実例を教訓に…

## 2. 今後の公共施設を取り巻く課題

### (3) 課題整理

#### ② 財源が圧倒的に不足（持続可能な行政運営の危機）

必要なサービスを圧迫



人口減少や税収減少を想定。新たな技術・手法の検討。新たなニーズの把握等々・・・

未来を見据えた公共施設のあり方を検討しなければならない



拡充から縮充へ ⇒ 「施設」 = 「サービス」ではない



## 2. 今後の公共施設を取り巻く課題

### (4) コロナで顕著化した施設の課題・あり方

〈一例〉

- ・ テレワーク/時間差出勤 ⇒ 執務室や出勤体制の変化
- ・ 図書館閉館に伴う電子書籍や郵送貸出 ⇒ サービスの変化
- ・ 各証明書の郵送申請の推奨 ⇒ サービスの変化
- ・ プール授業の中止（各自治体） ⇒ 施策の選択（安全対策を優先）
- ・ 大津市役所全面閉鎖 ⇒ 安全第一（リスク回避）



- ・ 施設のあり方を考える転機（施設を使わないサービス）
- ・ 今後、新しい働き方・サービスの議論や対応が加速する？
- ・ ピンチを教訓に。時代の変化に対応する。

### 3. 一緒に考えていく

#### (1) 一緒に考えていきたいこと (再掲)

利用者の安全・安心は絶対条件 / 職員を刑事犯罪人にしない

未来を見据えた公共施設のあり方を検討  
拡充から縮充へ



《目指すもの》

安全・安心の強化 / 長寿命化の推進 / 集約化・複合化の検討

### 3. 一緒に考えていく

#### (1)一緒に考えていきたいこと

##### 《考えていくこと》

- ・ 安全・安心の強化 ⇒ 施設状況と利用者ニーズの把握・検証
- ・ 優先順位付けをした長寿命化の推進 ⇒ 優先順位を考える
- ・ 施設とサービスを切り離して考える
  - ⇒ 必要な施設を考えるではなくサービスを考える
  - ⇒ そのサービスは「民間協働」や「歳入確保」等で継続・向上できないかを考える（できる手法を考える）
- ・ 集約化・複合化の検討 ⇒ 6割を占める小中学校の協力が不可欠

## 3. 一緒に考えていく

### (1) 一緒に考えていきたいこと

《皆様にお願ひ》

- ・ 自分事として考える  
(問題を先送りすると施設も財政も悪化 = 市民も職員も不幸)
- ・ 所管課の意見・アイデアが必要  
(現状・実態を把握。利用者と接している)
- ・ 職員一丸で取り組む  
(全庁的な視点での取組が必要)



### 3. 一緒に考えていく

(1) 一緒に考えていきたいこと



明るい未来の八千代のために  
ポジティブな視点・イメージで考える

### 3. 一緒に考えていく

#### (2) 計画策定の進め方について

- ① 職員：庁内説明会の実施（策定過程で複数回実施）  
プロジェクトチームでの協議  
施設所管課とのヒアリングなど
- ② 市民：アンケート，パブコメ等



令和3年3月末までに策定

# 八千代市 公共施設に関する市民アンケート

【ご協力のお願い】

市民の皆様には、日頃より市政に対しましてご理解・ご協力をいただき、ありがとうございます。

現在、国、地方公共団体を問わず、公共施設の老朽化が大きな社会問題となっており、本市におきましても1960年代～70年代の人口増加に併せて集中的に公共施設を整備してきた経緯から、それらの公共施設の老朽化が進行しています。一方、人口減少、少子高齢化社会の到来など社会状況が大きく変化し、限られた財源の中で、すべての施設を改修、建て替えることは極めて困難な状況です。

このことから、本市では、平成27年7月に「八千代市公共施設等総合管理計画」を策定し、公共サービス・施設等の規模の適正化、公共施設等の効率的な施設管理及び有効活用に向けた取り組みを推進しております。

さらには、各公共施設の今後のあり方について、今年度末までに「個別施設計画」として取りまとめることとしております。

つきましては、市民の皆様には公共施設の利用状況や今後のあり方に関するご意見等を伺い、今後の取り組みに活用させていただきたいと考えておりますので、何卒、アンケート調査にご協力くださいますようお願いいたします。

令和2年6月

八千代市長 服部 友則

## 《記入上のお願い等》

- ◆ このアンケート調査は、6月18日現在の八千代市の住民基本台帳から、18歳以上の方3,000人を抽出し、実施するものです。
- ◆ このアンケート調査は、無記名です。ご回答いただいた内容は、統計的に取り扱い、個々の内容が公表されることはございません。
- ◆ できるだけ宛名の方ご本人がご回答ください。代筆も可能です。
- ◆ アンケートの結果は市ホームページなどで公表いたします。
- ◆ ご記入いただいたアンケート調査票は、**令和2年7月15日(水)まで**に、同封の返信用封筒に入れ、無記名でポストに投函して下さるようお願いいたします。

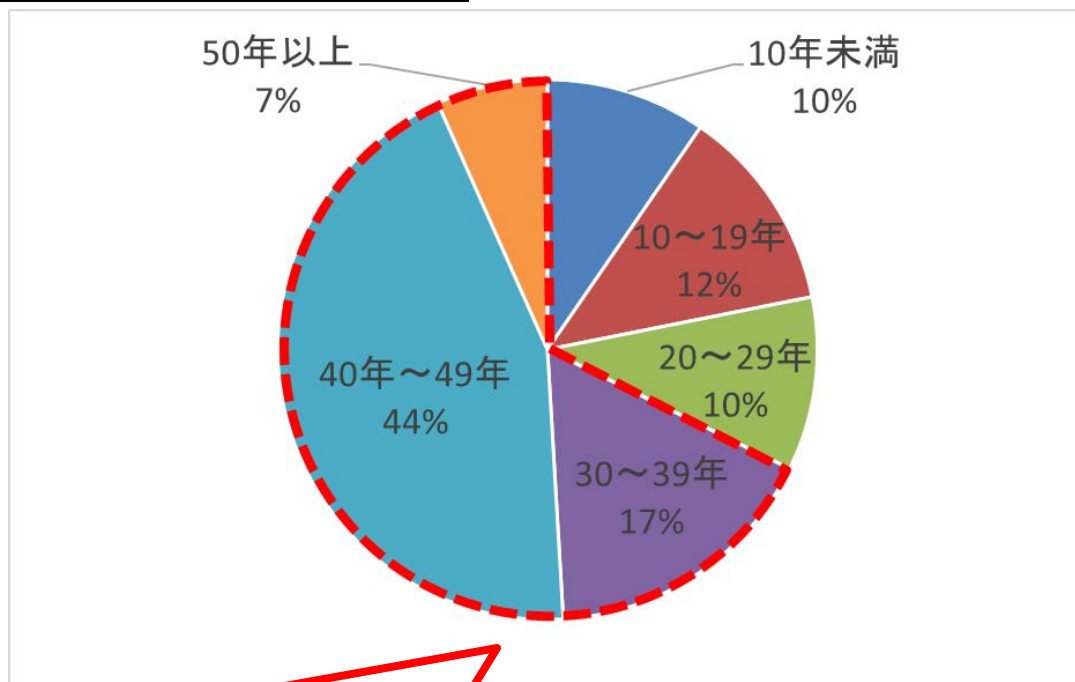
## 【本アンケートのお問い合わせ先】

八千代市役所 財務部 資産管理課 マネジメント推進班  
(電話047-483-1151 内線3311, 3312)

# 八千代市 公共施設に関する市民アンケート【資料編】

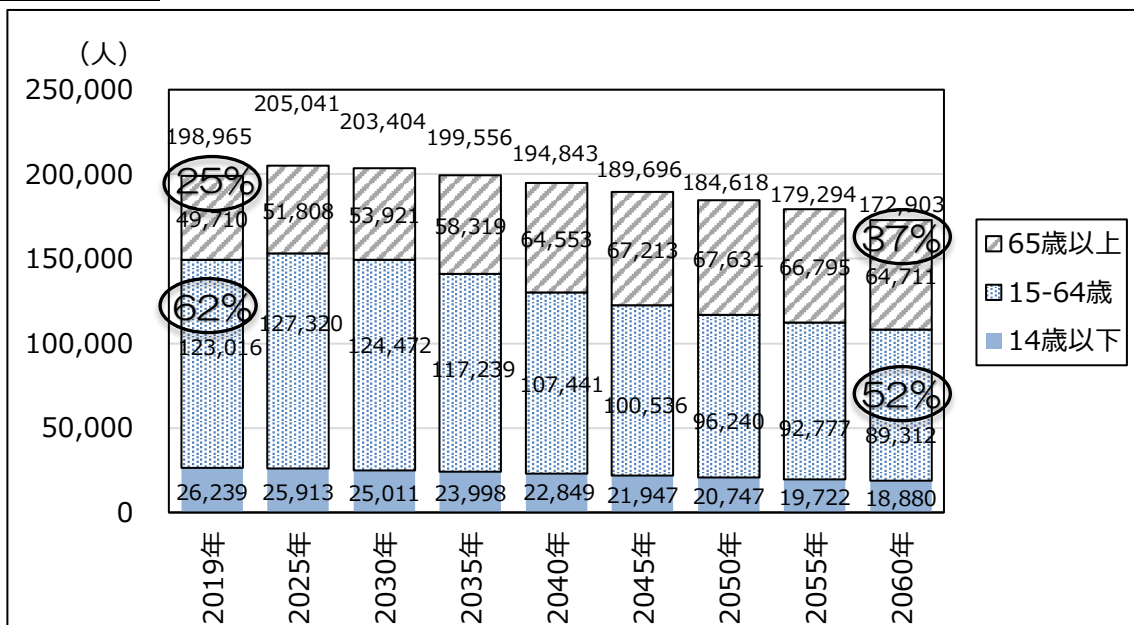
## 八千代市の公共施設を取り巻く状況

### 1 建設後の経過年数別面積割合



6割以上の公共施設が築30年以上経過しています。

### 2 人口推計

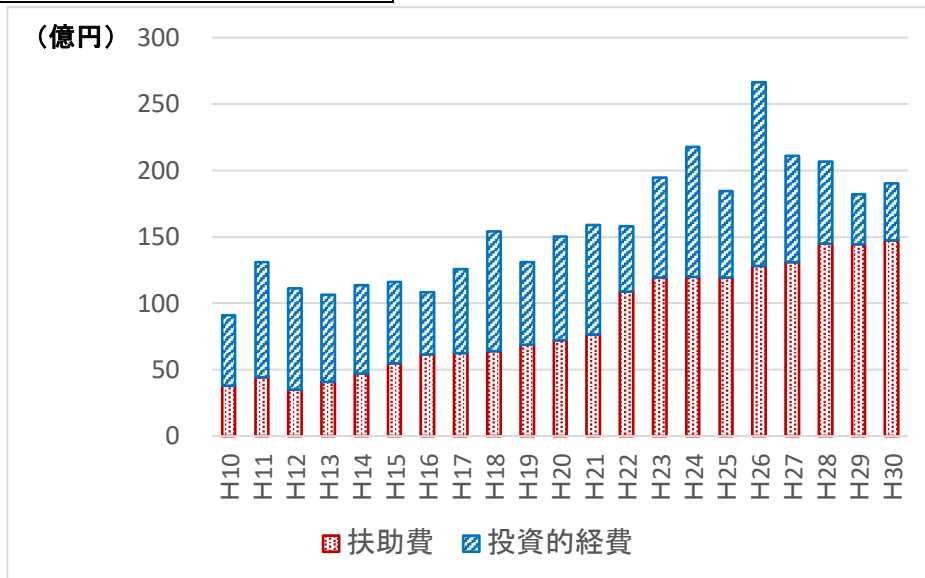


※「八千代市人口ビジョン（令和2年改訂版）」より

今後、生産年齢（15歳～64歳）人口の割合が減少し、老年（65歳以上）人口の割合が増加する見込みです。



### 3 扶助費及び投資的経費の推移

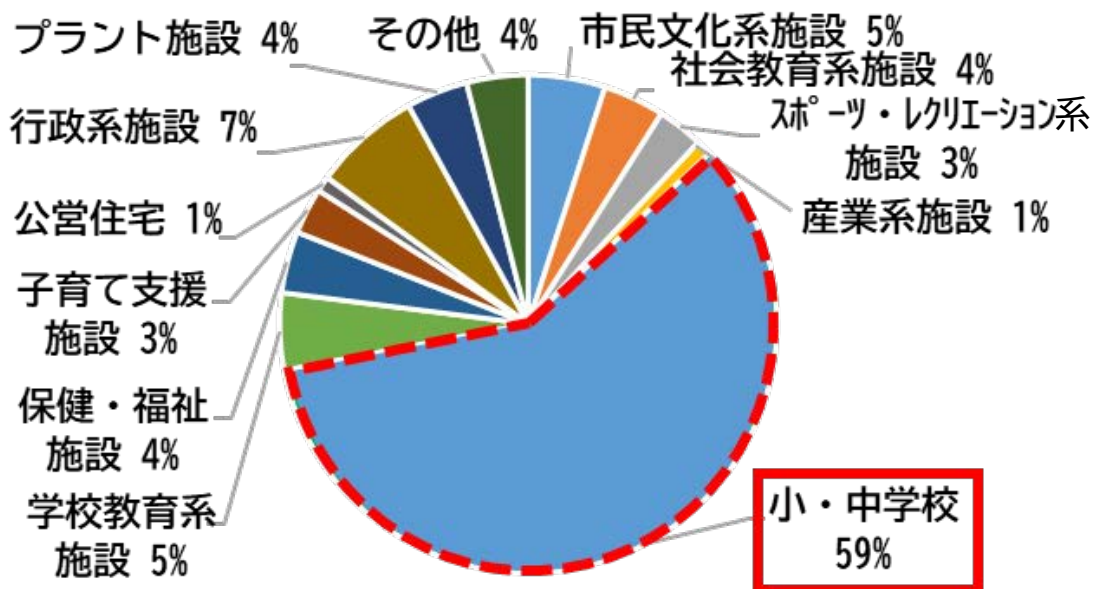


扶助費・・・社会保障制度の一環として、児童・高齢者・障がい者・生活困窮者などに対する支援に必要な経費

投資的経費・・・学校・公園・道路などの整備に必要な経費

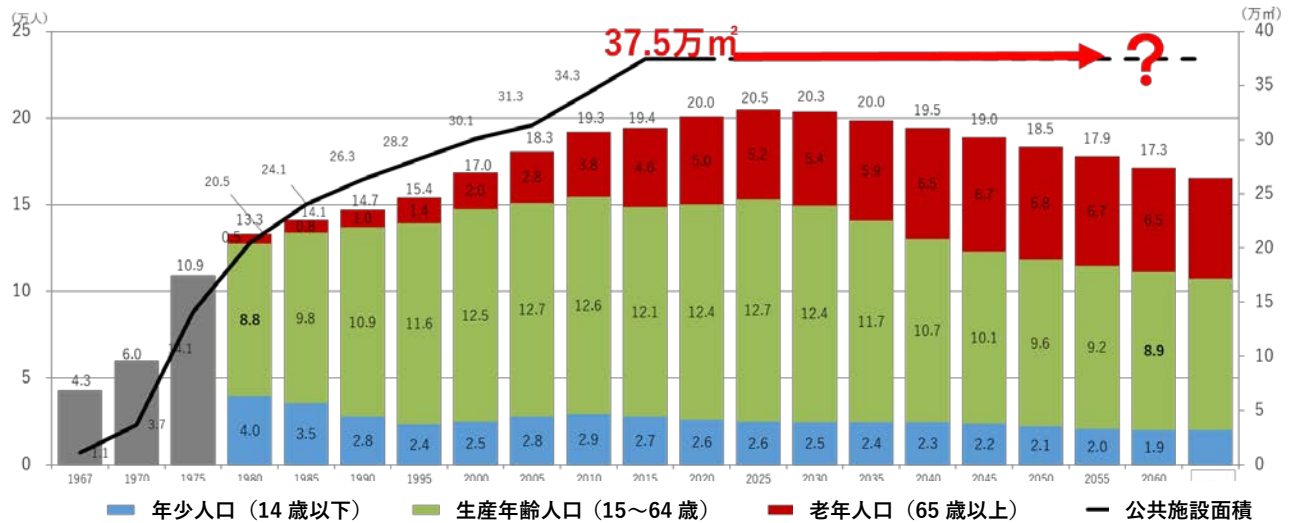
扶助費は増加し、投資的経費は減少傾向となっています。

### 4 施設分類別面積割合



小・中学校が約6割を占めています。

## 5 公共施設面積と人口推移



※公共施設面積については、現保有面積より経過年数をもとに算定

人口増加に伴い公共施設面積が増え、現在は約 37.5 万㎡。今後、人口が減少する見込みにおいて現面積を維持することは、厳しくなると考えられます。

### 個別施設の名称

施設分類	具体的な施設名
集会施設	八千代台東南公共センター、男女共同参画センター
文化施設	市民会館、八千代台文化センター、勝田台文化センター、市民活動サポートセンター、文化伝承館、多文化交流センター、勝田台ステーションギャラリー、市民ギャラリー
文化・スポーツ施設	総合生涯学習プラザ
公民館	大和田公民館、阿蘇公民館、高津公民館、勝田台公民館、八千代台公民館、村上公民館、睦公民館、八千代台東南公民館、緑が丘公民館
図書館	大和田図書館、八千代台図書館、勝田台図書館、緑が丘図書館、中央図書館
博物館	郷土博物館
スポーツ施設	八千代総合運動公園市民体育館、八千代台近隣公園小体育館、勝田台中央公園小体育館
レクリエーション施設	ガキ大将の森キャンプ場
産業系施設	八千代ふるさとステーション、やちよ農業交流センター
保健施設	保健センター
その他保健・福祉施設	福祉センター、ふれあいプラザ
支所・連絡所	米本支所、高津支所、八千代台支所、勝田台支所、村上支所、睦連絡所

(写)

【調査票】

八千代市 公共施設に関する市民アンケート

※ 各設問の該当する番号に○を付けて回答してください

I まず、あなたご自身についてお伺いします。

問1 あなたの性別はどちらですか。

1. 男性 2. 女性

問2 あなたの年齢は次のうちどれですか。

1. 10歳代 2. 20歳代 3. 30歳代 4. 40歳代 5. 50歳代  
6. 60歳代 7. 70歳以上

問3 あなたのご職業は次のうちどれですか。

1. 会社員 2. 自営業 3. 農業 4. 公務員 5. 専業主婦または主夫  
6. 学生 7. 無職 8. その他( )

問4 同居されているご家族の構成は次のうちどれですか。

1. 単身 2. 夫婦のみ 3. 夫婦と子ども 4. 夫婦と親  
5. 夫婦と子どもと親 6. その他( )

問5 お住まいの地区は次のうちどれですか。該当町を参考にご回答ください。

	地区	該当町
1	大和田地区	大和田・萱田・萱田町
2	ゆりのき台地区	ゆりのき台
3	大和田新田(A)地区	大和田新田下区等、萱田中学校又は大和田中学校の学区の範囲内にある大和田新田地区
4	大和田新田(B)地区	大和田新田上区等、高津中学校又は東高津中学校の学区の範囲内にある大和田新田地区(高津団地を除く)
5	高津・緑が丘地区	高津(高津団地を除く)・高津東・緑が丘・緑が丘西
6	八千代台東南地区	八千代台東・八千代台南
7	八千代台西北地区	八千代台西・八千代台北
8	勝田台地区	勝田台・勝田・勝田台南
9	村上地区	村上(村上団地を除く)・村上南・下市場・上高野・勝田台北
10	阿蘇地区	米本(米本団地を除く)・神野・保品・下高野・堀の内
11	睦地区	桑納・麦丸・桑橋・吉橋・島田・神久保・小池・真木野 佐山・平戸・島田台・尾崎・大学町
12	米本団地地区	米本団地
13	高津団地地区	高津団地
14	村上団地地区	村上団地

※ アンケートの対象となっていない方が回答をしてもアンケート結果に反映されません

# (写)

Ⅱ 次に、公共施設の利用状況についてお伺いします。

問6-1 あなたは、過去1年間に、下表の八千代市の公共施設をどのくらい利用していますか。施設分類ごとに1つ選んで番号に○を付けてください。

3または4を選んだ場合は、問6-2にお進みください。

施設分類 ※【資料編】3ページの『個別施設の名称』も参考にしてください	利用頻度	1.よく利用している (週1回以上利用)	2.時々利用している (月1回以上利用)	3.たまにしか利用しない (年に数回程度利用)	4.利用したことがない
集会施設 【八千代台東南公共センターなど】		1	2	3	4
文化施設 【市民会館、文化センターなど】		1	2	3	4
文化・スポーツ施設 【総合生涯学習プラザ】		1	2	3	4
公民館		1	2	3	4
図書館		1	2	3	4
博物館 【郷土博物館】		1	2	3	4
スポーツ施設 【市民体育館など】		1	2	3	4
レクリエーション施設 【ガキ大将の森キャンプ場】		1	2	3	4
産業系施設 【八千代ふるさとステーションなど】		1	2	3	4
保健施設 【保健センター】		1	2	3	4
その他保健・福祉施設 【福祉センター、ふれあいプラザ】		1	2	3	4
支所・連絡所		1	2	3	4

問6-2  
に続く



※ アンケートの対象となっていない方が回答をしてもアンケート結果に反映されません

# (写)

問6-2 前問で、「3.たまにしか利用しない」「4.利用したことがない」と回答された方にお伺いします。その理由の主なものを施設分類ごとに1つ選んで番号に○を付けてください。

理由 施設分類	1. 施設の存在やサービス内容を知らない	2. 利用する必要性がない	3. サービス、利用時間などの条件が合わない	4. 他の自治体や国、民間の施設を利用している	5. 住まいからの距離が遠い
集会施設	1	2	3	4	5
文化施設	1	2	3	4	5
文化・スポーツ施設	1	2	3	4	5
公民館	1	2	3	4	5
図書館	1	2	3	4	5
博物館	1	2	3	4	5
スポーツ施設	1	2	3	4	5
レクリエーション施設	1	2	3	4	5
産業系施設	1	2	3	4	5
保健施設	1	2	3	4	5
その他保健・福祉施設	1	2	3	4	5
支所・連絡所	1	2	3	4	5

※ アンケートの対象となっていない方が回答をしてもアンケート結果に反映されません

# (写)

Ⅲ 次に、今後の公共施設のあり方についてお伺いします。

問7 全国の自治体で、公共施設の老朽化による更新（建て替え）が問題になっています。本市でも、公共施設の老朽化が進んでおり、近い将来、一斉に改修や建て替えの時期を迎えます。一方、限られた財源の中ですべての施設を維持していくことは困難な状況です。そこで、あなたが将来にわたり優先的に維持していくべきと考える施設についてお伺いします。次の施設分類の中から3つまで選んで番号に○を付けてください。

施設分類	具体的な施設名
1. 集会施設	八千代台東南公共センター，男女共同参画センター
2. 文化施設	市民会館，八千代台文化センター，勝田台文化センター，市民活動サポートセンター，文化伝承館，多文化交流センター，勝田台ステーションギャラリー，市民ギャラリー
3. 文化・スポーツ施設	総合生涯学習プラザ
4. 公民館	大和田公民館，阿蘇公民館，高津公民館，勝田台公民館，八千代台公民館，村上公民館，睦公民館，八千代台東南公民館，緑が丘公民館
5. 図書館	大和田図書館，八千代台図書館，勝田台図書館，緑が丘図書館，中央図書館
6. 博物館	郷土博物館
7. スポーツ施設	八千代総合運動公園市民体育館，八千代台近隣公園小体育館，勝田台中央公園小体育館
8. レクリエーション施設	ガキ大将の森キャンプ場
9. 産業系施設	八千代ふるさとステーション，やちよ農業交流センター
10. 小・中学校	小学校・中学校
11. その他学校教育施設	教育センター，少年自然の家，適応支援センター
12. 保育園	公立保育園
13. 幼児・児童施設	学童保育所，すてっぴ21
14. 障害福祉施設	障害者福祉センター，児童発達支援センター，ことばと発達の相談室
15. 保健施設	保健センター
16. その他保健・福祉施設	福祉センター，ふれあいプラザ
17. 庁舎等	市役所庁舎，教育委員会庁舎，米本支所，高津支所，八千代台支所，勝田台支所，村上支所，睦連絡所

※ アンケートの対象となっていない方が回答をしてもアンケート結果に反映されません

# (写)

問8 限られた財源の中ですべての施設を維持していくことは困難な状況の中、施設による従来の公共サービスのあり方を見直していく必要があります。そこで、下表の各方策を実施することについて、あなたはどのように考えますか。方策ごとに1つ選んで○を付けてください。

方策 \ 考え	1. 積極的に実施すべき	2. どちらかといえば実施すべき	3. どちらかといえば実施すべきではない	4. 実施すべきではない
人口減少に合わせて、現在ある施設の総量を削減していく。	1	2	3	4
現在ある施設を複合化(※)等によって集約する。(1棟にまとめる)	1	2	3	4
利用する人と利用しない人の負担の公平性の観点から、受益者負担(施設使用料)を増やして施設を維持していく。	1	2	3	4
施設の廃止等により、余剰となった土地や建物は売却または貸付し、その収入を施設の改修等の費用にあてる。	1	2	3	4
施設の整備や運営に、民間のノウハウや資金を活用する。	1	2	3	4
民間施設でも提供可能なサービスは、市がその利用料を一部助成するなどした上で、民間に委ねる。	1	2	3	4
近隣の自治体と共用できる施設は、統合した上で、共同で管理運営を行う。	1	2	3	4
地域に密着した施設は、地域住民等に譲渡し、地域で維持管理を行う。	1	2	3	4

(※) 複合化：一つの建物に複数の施設があること(例：公民館と図書館が一つの建物)

※ アンケートの対象となっていない方が回答をしてもアンケート結果に反映されません

# (写)

問9 今後、今ある施設を減らすことが必要になった場合、どのような施設から減らすべきと考えますか。次の中から3つまで選んでください。

1. 稼働率が低い施設
2. 維持管理に多くの経費がかかっている施設
3. 同じような用途の施設が近くにある施設
4. おおむね一部の個人や団体に利用されている施設
5. 各地域で利用する施設（支所、公民館など）
6. 市全域で利用する施設（市民体育館、市民会館など）
7. 民間施設と提供しているサービスが類似している施設

問10 小・中学校の余裕教室の有効活用についてお伺いします。本市の公共施設のうち6割が小・中学校となっています。一方、少子化による児童・生徒数の減少が進み、学級数が減って余裕教室が生じることが予想されます。そこで、児童・生徒の安全面に配慮した上で他施設と複合化するなど、学校施設の地域利用を進めることについて、あなたの考えに最も近いものを1つ選んでください。

1. 積極的に推進すべき
2. どちらかと言えば推進すべき
3. どちらかと言えば推進すべきではない
4. 推進すべきではない

問11 公共施設についての要望・意見などがございましたら、ご自由にご記入下さい。



以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。

※ アンケートの対象となっていない方が回答をしてもアンケート結果に反映されません